

広報

No.569

ちっぷべつ

1

January 2018

Public Relations Magazine

賀
年
謹
新



認定こども園くるみ おもちつき 12/1

- 年頭のご挨拶
- 屋根雪の除雪費用を助成します
- 後期高齢者医療制度のお知らせ
- 20歳になったら国民年金

秩父別町ホームページ
町公式フェイスブック

<http://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp>
<https://www.facebook.com/chippubetsutown>

年頭のぞい挨拶

秩父列町長 神 薮 武



新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、平成30年の輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられましたことと、謹んでお慶び申し上げます。
また、平素から町政の推進に対し、温かいご理解とご支援を頂き心から厚くお礼申し上げますとともに、本年も秩父別町発展のためにさらなるご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、地方は景気回復の実感に乏しく、生産年齢人口の減少に伴う労働力や消費の環境は依然として厳しい状況が続いております。
このような中、安倍総理は少子高齢化と緊迫する北朝鮮の脅威を国難として、9月28日の臨時国会冒頭で衆議院を解散いたしました。野党再編による近年稀に

みる混沌とした選挙戦となりましたが、与党が憲法改正の発議に必要な3分の2を超える議席を獲得し、第4次安倍内閣が発足いたしました。

今後は、公約に掲げた生産性を高めるための新しい経済政策、消費税を利用した幼児教育無償化など全世界の社会保障への転換が図られることになり、真に地方が潤う効果的、効率的な政策の実施と持続可能で安定的な社会保障制度の構築に期待するものであります。

さて、本町におきましては、水稲は6月の低温と日照不足により生育の遅れが心配されておりましたが、その後の天候回復と農家の皆さんの適切な肥培管理とご努力によりまして、品質、収量ともに良く作況指数が103という7年連続での豊作となり、苦勞の汗が報われた一年でありました。
また、米価は需給調整の取り組みの成果などにより高値を維持しており、水稲を基幹作物とする本町にと

りましては誠に喜ばしい限りであります。

しかし、今年から約半世紀続いた米の生産調整が廃止され、大きな転換点を迎えます。

政府には、日欧EPAや米国を除くTPPの大筋合意、今後予想される日米FTAなどの通商政策では、生産者の不安を払拭し、意欲のある農家の努力が報われる万全な対策を強く望むものであります。



一方、町の主な事業では、子育て支援の集大成として、交流人口の拡大と若い世代の移住定住を促進するための核となる、屋内遊戯場「キッズスクエアちっく」を昨年4月1日にオー

ブンいたしました。

以来、大変好評をいただき、入館者数は11月末現在で6万7千人と道内各地から大勢の家族連れがお越しになり、隣接する温泉レストラン、道の駅をはじめ町内飲食店の売り上げも伸びており、地域経済への波及効果が現れていると感じております。

また、昨年は、屋外遊戯場「三世代公園 日本一のキュービックコネクション」の夏工事を予定どおり終了することができました。本年7月には、子どもからお年寄りまで健康づくりをしながら楽しめる施設としてオープンする予定であります。

道内には類似の施設は少なく、完成後はさらに多くの方がお越しになり本町の知名度アップに加えて、さらに一層地域経済の活性化に寄与できるものと大きな期待をいたしております。

このほか、生き生き館事務所棟の耐震改修、温泉2号源泉ボーリング、温泉冷房設備改修、2丁目道路改



修、公営住宅外壁塗装及び屋根葺き替え、橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検や補修など、町民生活の利便性向上と安全安心なまちづくりに向けた事業を実施してまいりました。

また、町が建設費を助成いたします民間運営による障がい者グループホームが12月に開設されましたが、本町における障がい者福祉の向上と雇用の創出にご貢

献をいただけるものと考えております。

ソフト事業に目を向けますと、人口の流出や減少を抑制しつつ移住定住を促進するため、新婚世帯・子育て世帯及び町内就業者向けの家賃助成制度の創設と引越し助成金の見直しを行いましたところ、多くの方に利用いただき転入者の増加につながったところであります。

昨年度から実施しております住宅リフォーム補助金も、引き続き好評をいただき定住促進に寄与しているものと感じております。

昨年、開校70周年の節目を迎えた秩父別中学校では、野球部と女子バレーボール部が開校以来初めて両部揃って中体連全道大会の出場を果たしました。

少人数チームながら、持ち前の団結力を生かして大健闘されたことは大きな自信につながったことと思えますし、この成果を導いていただいた指導者の方々に深く感謝を申し上げます。上げる次第であります。

今年、北海道日本ハムファイターズの鍵谷陽平選手と渡邊諒選手の2名が1年間、秩父別町の応援大使を務めていただくこととなりましたので、各種交流事業を実施して秩父別町を全道に発信してまいります。

国や北海道では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客の誘致活

動を進めております。

本町におきましても、温泉及び昨年末に改修いたしました外国人向けの体験住宅などを活用しながら、日本文化を体験できるインバウンドを推進し、道の駅並びにローズガーデンなどの観光施設との連携を強化して相乗効果を図り、さらなる交流人口の拡大と町民生活の向上に努め、「小さくてもキラリと輝く存在感のある町づくり」に全力で取り組んでまいります。

以上、昨年の主な事業について申し上げますが、本年も自治基本条例に基づき、町民の皆様、議会、行政が一体となって英知を集め、町政を推進することにより、秩父別町の輝かしい未来が拓けるものと確信しているところであります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく活気に満ち溢れ、幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます



秩父別町議会
議長 土井 享

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成30年の新春をご家族と共に、健勝で迎えられることを心からお待ちしております。

町民の皆様には、日頃から町議会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は基幹産業の農業の水稲において、生産者各位のご努力は勿論であります。関係機関・団体のお力添えにより、さらには大きな災害もなく、7年連続の豊穰の秋を迎えることができましたことにお喜び申し上げます。

TPP問題においては、アメリカが正式に離脱し、昨年11月にベトナムで行われたTPP閣僚会合において11か国による交渉の大筋合意が確認されたところです。

外務大臣は今回合意した「包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定」の早期署名・発効を目指すとされていますが、先行きが不透明なところがあり、農家の皆様が多く不安を抱かえる内容とならないよう願うところです。

農業を基幹産業とする本町にとりまして、これから農業の担い手が将来にわたる意欲と希望を持って営農

できるような施策を望むところです。

また、外交では北朝鮮問題等で近隣諸国との関係修復も進まず、憂慮する状況であります。

政府は安全にそして安心して国民が日本に住めるよう努力を惜しまないよう望むところです。

政府（閣僚）は自分大事ではなく、国民に対し、謙虚な気持ちをお忘れすることなく、政権運営を心がけてもらいたいと思います。

町内に目を転じますと、神数町政最大の事業、屋内遊戯場「ちっくくる」が、昨年4月にオープンし、予想をはるかに超える入場者数で喜ばしい限りであります。

今年7月には「ベルパークちっぷべつ」にキュービックコネクションがオープンを迎え、さらに交流人

口の増加が見込まれ、経済波及効果・知名度アップ等に期待するところです。

屋外遊戯場の整備により三世代が利用できる施設となりますので、町の活性化の起爆剤となることを、願うところであります。

私たち議会議員は今年任期最後の年となります。町民の皆様を支えられ議員活動を今日まで行えたことに感謝申し上げます。

町民の皆様から町政への思いを議員一同自らの責務として十分に自覚し、町民の皆様への負託にお応えできるようさらに努力してまいる所存であります。

迎える平成30年が、明るく健やかな一年でさらに皆様の幸多い年でありまして、うお祈り申し上げます。町議会を代表してのご挨拶といたします。

町議会

議長 土井 享

副議長 本村 修二

総務経済
常任委員長 寺迫 公裕

議会
運営委員長 畑田 壽

議員 早川 正剛

議員 柴田 壹隆

議員 大野 敬

議員 藤岡 浩文

議員 岡崎 丈司



謹賀新年

教育委員会

教育長職務代理 梅澤 大観
委員 南 洋子
田丸 政彦
宮本こずえ

農業委員会

会長 川上 徳嗣
同職務代理 吉田 光博
委員 塩谷 雅則
高橋 裕治
植田 孝典
河瀬 晋
片岡 洋一
中村 純一
梶澤 雄大
高松 隆
佐崎 雅俊
多田由紀博

監査委員

代表委員 藤岡 和正
委員 柴田 壹隆

選挙管理委員会

委員長 東 晴基
同職務代理 平瀬 悦子
委員 高村 広行
前田 力男

固定資産評価審査委員会

委員長 田中 康雄
委員 安部 了一
吉澤真由美

公平委員会

委員長 山田 憲正
委員 東 恵美
竹内 常雄

国民健康保険運営協議会

会長 柴田 壹隆
同職務代理 藤岡 浩文
委員 佐々木正人
齊藤 哲也
三浦 四郎
前田 力男

行政相談委員

委員 荻口 洋次

人権擁護委員

委員 黒田 卓夫
榎本 信子

民生児童委員協議会

会長 中西 俊治
副会長 神田 達広
委員 小山 裕子
森 秀夫
山田たまの
山本 久代
宇野 誕子
岡田 存広
石井 康夫
川尻祈代三
池田 展子

深川地区保護司会

支部長 中西 輝行
支支部長 金倉 泰賢
保護司 藤岡 祐子
山本 清美
瀬戸 宣夫

深川地区消防組合

団長 佐久間 進
副団長 熊田 政人
第一分団長 眞島 秀樹
第二分団長 山森 正己
外団員一同

秩父別消防団

交通安全指導員会

会長 尾谷 重良
副会長 中西 伴浩
委員 戸村 和広
宮森 一弘
大井 和範
砂川 純
齊藤 讓二
合田 和広
高橋 秀幸

社会教育委員

委員長 藤原 賀津雄
副委員長 我部山真美
委員 山本 徹淨
金倉 紀子
成田 将人

スポーツ推進委員

委員長 山森 聡
副委員長 今井 誉民
委員 菊地 幸絵
前田 誠
手塚 奈美
寺迫 昇真
山本 一成

